

モジュール1

プロフェッショナル・マインドセットと目標設定

【ワークの目的】

「趣味」から「仕事」への意識変革を行い、表現者としての感性を守りながら事業を安定させる「経営者としての視点」と、最短距離で自立するための設計図を確立します。

【Q1：仕組みによる意識の書き換え】

(AIワーク1：業務の整理とAIによる効率化の結果を受けて)

AIは、あなたがプロの作家として活動するために必要な「広報」「経理」「営業」といった経営業務をリストアップしました。

「なかなか作品が売れない」「認知が広がらない」という状況に対し、漠然と「自分のAIが提示した、アート作家が事業を行う上で必要な「広報」「制作」「営業」「経理」などの業務リストと、AIによる効率化案を読み返してください。

- これまで制作以外の業務が滞るたびに、「自分にはビジネスの才能がない」あるいは「表現者として向いていない」と、個人の資質のせいにして自分を責めていたことはありませんか？ ある場合はどんなことなのかを具体的に書き出してください。
- 提示されたリストを見て、それが能力の問題ではなく、単に「表現者兼CEOとしての役割分担と仕組み」が欠如していただけだと気づいたとき、あなたの制作に向かう心理的なゆとりはどのように変化しましたか？
- あなたがこれまで「アーティストとしてのこだわり」から無意識に避けていた実務を、AIというパートナーに委ねて効率化すると決めたとき、明日からどのような「制作と経営の両立」の一步を踏み出したいか具体的に書き出してください。

【Q2：学芸員視点による価値の再定義】

(AIワーク2：世界観の分析とキャッチフレーズの言語化を受けて)

AIがあなたの過去の作品や文章から分析した「世界観」と、5案のキャッチフレーズを読んでください。

- 提示されたキャッチフレーズの中で、表面的な色の統一を超えた、あなたの「世界の見え方（哲学）」の本質を最も射抜いていると感じた一節はどこですか？

- 「学芸員の審美眼」によって構造化されたあなた独自の価値を、ファンからの揺るぎない信頼（ブランド）へと育てるために、あなたはこれから自身の「軸」をどのような言葉で周囲に宣言し始めますか？

【Q3：理想の未来と社会への貢献】

(AIワーク3：収益化の現実的なシミュレーションを受けて)

AIは、目標月商を達成するために必要な「販売数と単価の現実的な組み合わせ」を提示しました。

- 目標月商を達成するためにAIが提案した、作品やグッズの具体的な販売数と単価の組み合わせから一つ選択してここに記入してください。

- 定量的な目標を達成し、専業作家として自立の基盤を固めているあなたは、単なる「売上の確保」を超えて、作品を通じて誰にどのような「精神的な価値」を提供していますか？

- あなたが「才能を仕組み化」することに成功し、プロとして活動を継続し続ける姿は、アートのある生活を求めている人々や社会に対して、どのような「美の循環」を生み出す一助になると確信していますか？ それはどのような価値でしょうか？

【本日のプロフェッショナル宣言】

風茜の教えと本日の内省を経て、あなたがプロとして一生守り抜くと決めた信念を清書してください。

- 「私は、学芸員視点の（ ）を構築し、表現者兼CEOとして（ ）という一貫した信頼を社会に届けることを誓います」